

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和1年9月5日(2019.9.5)

【公表番号】特表2016-515897(P2016-515897A)  
 【公表日】平成28年6月2日(2016.6.2)  
 【年通号数】公開・登録公報2016-034  
 【出願番号】特願2016-503135(P2016-503135)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 3/113 (2006.01)

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 B

A 6 1 B 3/10 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年7月29日(2019.7.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レンズと、

前記レンズと通信する動的視標追跡機構であって、動的視標追跡機構は装着型光学装置に設置されるとともに装着者の要素を感知するように構成されたカメラを含み、動的視標追跡機構は光学パラメータに応答し、光学パラメータは毛様体、瞳、角膜、水晶体、虹彩、まぶた、網膜のいずれか及びこれらのあらゆる組合せを含む、動的視標追跡機構と、を含む装着型光学装置であって、

前記瞳の収縮に応答して前記レンズ上で遮光制御が行われ、前記遮光は、前記レンズの1つ以上の特定の領域上で動作し又は前記レンズ全体に均一に動作する動的フィルタリング材料を用いて制御されることによって、前記レンズ上に光の遮断を生じさせ、前記光の遮断は周囲光又は前記光学パラメータに応答する、  
 装着型光学装置。

【請求項2】

拡張現実感オーバーレイが前記動的視標追跡に基づいて使用される、請求項1に記載の装着型光学装置。

【請求項3】

前記動的視標追跡機構と共に電気通信要素が使用される、請求項1又は2に記載の装着型光学装置。

【請求項4】

前記レンズが、透明LCD材料、LED材料、OLED材料、可撓性LED材料、可撓性OLED材料、透明マトリクス材料、半透明マトリクス材料、プリズムベース材料、ホログラフィ材料、エレクトロルミネセンス材料、電界反射材料、動的フィルタリング材料、屈折材料のうちの一つ以上を含む、請求項1から3のいずれか一つに記載の装着型光学装置。

【請求項5】

前記装置へのセンサ入力を得るためにセンサが使用され、

前記センサは無線で結合される、請求項1から4のいずれか一つに記載の装着型光学装

置。

【請求項 6】

センサ入力はセンサを用いて得られ、

前記センサが、ジャイロスコープ、加速度計、圧力センサ、トルクセンサ、重量センサ、磁力計、温度センサ、光センサ、カメラ及びマイクロホン、GPS、無線検出、高度センサ、血圧、心拍数センサ、生体センサ、無線周波数識別(RFID)、近距離無線通信(NFC)、移動通信、Wi-Fi、歪みゲージ、指紋センサ、匂いセンサ、ガスセンサ、化学センサ、色センサ、音センサ、音響センサ、紫外線センサ、電界センサ、磁界センサ、重力センサ、風速センサ、風向センサ、コンパスセンサ、ジオロケータセンサ、偏光センサ、赤外線エミッタセンサのうちの1つ以上を含む、請求項1から5のいずれか1つに記載の装着型光学装置。

【請求項 7】

前記動的視標追跡機構は、光、偏光、赤外線センサのうちの1つ以上と共に用いられる、請求項1から6のいずれか1つに記載の装着型光学装置。

【請求項 8】

前記動的視標追跡がナビゲーションのために使用され、指が選択を行うために使用される、請求項1から7のいずれか1つに記載の装着型光学装置。

【請求項 9】

前記指に結合されたクリックナビゲーション機構を含む、請求項8に記載の装着型光学装置。

【請求項 10】

前記拡張現実感オーバーレイが、ノイズキャンセル回路、ウィスパーテクノロジー、テキストからのスピーチジェネレータのうちの1つ以上と共に使用される請求項2に記載の装着型光学装置。

【請求項 11】

拡張現実感視界が、ズーム機能、顕微鏡機能、拡大機能、照明機能、網膜投射機能のうちの1つ以上を含む、請求項2から10のいずれか1つに記載の装着型光学装置。

【請求項 12】

前記レンズに結合され、或る光波に対して作用し、照明ノイズの減少、光の偏光又は偏光解消、前記装着者の知覚の変更、のうちの1つ以上の効果を奏するように構成されたフィルタを含む、請求項1から11のいずれか1つに記載の装着型光学装置。

【請求項 13】

前記装着型光学装置は、前記装着者が見る対象物又は人物の特徴を特定するために、ソーシャルネットワーク又は外部のデータベースと連携して使用される、請求項12に記載の装着型光学装置。

【請求項 14】

前記装着型光学装置は、ゲーム環境において使用される、請求項1に記載の装着型光学装置。

【請求項 15】

拡張現実感要素は、患者の歯の特徴を受け取るように構成されており、

前記拡張現実感視界は、装着者が歯科処置を前記患者に実行するのに適している、請求項11に記載の装着型光学装置。

【請求項 16】

前記歯科処置が、歯を削ること、抜歯、歯の掃除、及び根管のうちの1つ以上を含む、請求項15に記載の装着型光学装置。

【請求項 17】

前記歯科処置の結果を、前記装着型光学装置の外部に通信する要素を含む、請求項15又は16に記載の装着型光学装置。

【請求項 18】

ユーザパラメータに基づいて広告が提供される、請求項2から17のいずれか1つに記

載の装着型光学装置。

【請求項 19】

前記広告は、前記動的視標追跡機構、前記装着者と製品の相対位置、のうちの1つ以上に応じて前記拡張現実感視界の中に配置される、請求項18に記載の装着型光学装置。

【請求項 20】

前記装着型光学装置はベンダーからの情報を見せる広告を見せることができる、請求項18又は19に記載の装着型光学装置。

【請求項 21】

前記動的視標追跡機構と連携して言語翻訳が使用される、請求項2から20のいずれか1つに記載の装着型光学装置。

【請求項 22】

前記言語翻訳は、広告、道路標識、のうちの1つ以上のオーバーレイに関してなされる、請求項21に記載の装着型光学装置。

【請求項 23】

前記動的視標追跡機構、前記動的視標追跡機構へ追加情報を提供する要素、及び、前記装着型光学装置の外部へ通信する要素は、装着型ヘッドセットの中に配置されている、請求項1から22のいずれか1つに記載の装着型光学装置。

【請求項 24】

前記センサは、フレームに有線接続又は無線接続されるイヤピースを含む、請求項5又は請求項6に記載の装着型光学装置。

【請求項 25】

イヤピースを含み、前記イヤピースはマイクロホン及びスピーカを含み、前記マイクロホン及びスピーカは音響ノイズキャンセルのために構成されている、請求項1から24のいずれか1つに記載の装着型光学装置。

【請求項 26】

前記装着者にオーディオを提供するよう構成されたスピーカを含み、前記スピーカは、前記動的視標追跡機構、及び、前記拡張現実感オーバーレイ、のうちの1つ以上に応答する、請求項2に記載の装着型光学装置。

【請求項 27】

前記スピーカが、前記動的視標追跡機構に応じてノイズキャンセル又はノイズ低減を提供し、

前記装着者に見られる対象物の外部の音源、選択された領域の外部の音源、のうちの1つ以上の音源が削減又は低減されるが、請求項26に記載の装着型光学装置。

【請求項 28】

前記スピーカが、周囲のオーディオ及びソースのオーディオの混合物を提供する、請求項26に記載の装着型光学装置。

【請求項 29】

振動又は他の触覚刺激を前記装着者に提供するように構成された振動要素を含み、前記振動要素は、前記動的視標追跡機構、前記拡張現実感オーバーレイ、のうちの1つ以上に応答する、請求項2に記載の装着型光学装置。

【請求項 30】

顔認識又は音声認識、及びソーシャルメディアネットワークからの情報が、前記装着型光学装置と共に使用される、請求項1に記載の装着型光学装置。

【請求項 31】

拡張現実感オーバーレイが、顔認識、音声認識のうちの1つ以上に応じて、前記動的視標追跡機構と共に使用される、請求項1に記載の装着型光学装置。

【請求項 32】

前記レンズに結合されるとともに前記レンズを制御する照明制御を含み、前記照明制御は、前記動的視標追跡機構に**応答する**、請求項1に記載の装着型光学装置。

。

## 【請求項 3 3】

前記照明制御は遮光又は逆遮光要素を含む、請求項 3 2 に記載の装着型光学装置。

## 【請求項 3 4】

前記照明制御は、対象物認識要素を含む、請求項 3 2 又は 3 3 に記載の装着型光学装置。

## 【請求項 3 5】

前記照明制御は、ディスプレイ、ディスプレイの背景、認識された対象物の視覚エリア、スマートフォン、パーソナルコンピュータ、ラップトップ、デスクトップ、又は携帯機器のうちの 1 つ以上の対象物認識に応じて前記遮光又は逆遮光要素を作動させる、請求項 3 3 に記載の装着型光学装置。

## 【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 9】

装着型光学装置は、1 つ又は複数の挿入物を眼鏡に含むことができる。眼鏡は、カッド状の眼鏡を含む。遮光制御が、装着型光学装置に対して利用され得る。遮光制御は、装着型光学装置内の 1 つ又は複数のプロジェクタによって提供することができる。遮断効果が、装着型光学装置のレンズ上に投射され得る。遮光は、周辺エリアが遮断又は反転される装着型光学装置のレンズ上で提供することができる。遮光は、偏光フィルタによって提供される。遮光制御は、装着型光学装置内のレンズによって提供することができる。遮光は、光学パラメータを用いて制御することができる。光学パラメータは、毛様体、瞳、角膜、水晶体、虹彩、目蓋、及び網膜測定値のいずれか又は任意の組み合わせを含む。装着型光学装置の色特性、屈折特性、回折特性、透明特性、反射特性のいずれか又は任意の組み合わせを電氣的に制御できる材料が、動的視標追跡で利用される。レンズは、透明 LCD 材料、LED 材料、OLED 材料、可撓性 LED 材料、可撓性 OLED 材料、透明マトリックス材料、半透明マトリックス材料、プリズムベース材料、ホログラフィ材料、エレクトロルミネセンス材料、電界反射材料、動的フィルタリング材料のいずれか又は任意の組み合わせとすることができる。

## 【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 0】

装着型光学装置は、エレクトロクロマティック材料を含む。実施形態によるシステム及び方法において、画像情報を目に提供するために、1 つ又は複数の要素が、装着型光学装置内で利用される。1 つ又は複数の要素は、レンズプロジェクタ、網膜投射のいずれか又は任意の組み合わせを含む。網膜投射又はプロジェクタ+プリズムは、遮断を提供する。

## 【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 7 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 7 0】

光は、装着型光学装置を利用して特定の領域 1 3 1 2 において遮断することができる。カメラ 1 3 0 6 は、遮断される光の位置を決定する（リアルタイム）。アイセンサ 1 3 0 8 は、目/瞳/網膜の位置を決定する（リアルタイム）。カメラ 1 3 0 6 / アイセンサ 1 3 0 8 は、遮断される光と目 1 3 1 0 との間の視線、及びレンズ 1 3 0 4 上の交差領域（

リアルタイム)又はプロジェクト実施形態から遮断を投射する領域を決定する。